

第19回 ジャパンオープンハンドボルトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月11日	試合番号	A-ひ
種別・回戦	男子・準々決勝	会場	河南総合体育館

まっしらぎん HC岐阜			ふおっぐ FOG			得点チェック欄	
26	15	前半	15	29	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	11	後半	14		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	川口 勉
----	--------	------

HC岐阜のスローオフで試合が始まった。HC岐阜17番中里のポストシュート、FOG3番佐藤のロングシュートで試合が動き始めた。HC岐阜は、0・6ディフェンス、FOGは、3・3の高いディフェンスで応戦した。HC岐阜は、サイド、ポスト、ロングシュート等の多彩な攻撃をするが、FOGキーパー1番田中の好セーブが目立った。それに対しFOGは3番佐藤、4番酒井のロングシュートで点を重ねた。両者相譲らぬ攻防が続いた。前半15対15の同点で終了した。

後半は、FOG3番佐藤の7mスロー、4番酒井のサイドシュートの2点先行で始まった。後半に入り、FOGは0・6ディフェンスに戻し、3番佐藤のミドルシュート、6番吉野、9番篠田のサイドシュートで点差を広げていった。中盤以降、HC岐阜も粘り強く攻撃を続け、終了3分前からマンツウマンディフェンスをしたが、点差を詰め切れなかった。最終的に、29対26でFOGが勝利した。

送信担当記録委員	金丸 央
----------	------